

花と緑の銀行だより

224号 2022.8



上市町 ふれあいガーデン (写真：上市支店)

目次

- ・花と緑の提言 上市町の花と緑のまちづくり (上市支店) 2
- ・活動事例 射水支店の活動について (射水支店) 3
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン～ストケシア～ (職藝学院 渡邊美保子)・4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理～クロガネモチ～ (樹木医 西村正史) ・5
- ・事業紹介「花で飾るフォトスポットin富山湾岸サイクリングコース事業」について (緑花推進部) ・6
- ・この人あり 村中を花いっぱいになりたい (魚津支店 上野方地方銀行 松田 輝美) 7
- ・お知らせ 8月～12月の主なイベントなど 7



上市町の花と緑のまちづくり

花と緑の銀行 上市支店長
上市町長 中川 行孝

日頃より花と緑の緑化推進に多大なるご支援とご尽力を賜りますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

上市町は、富山県東部に位置し、日本百名山の一つ「劔岳」を主峰として、大日岳、大辻山、高峰山等を有し、これらを水源とする早月川、上市川、白岩川等といった水源からなる田園風景豊かな町です。万病に効く水として全国各地から参詣者が訪れる全国名水百選の穴の谷の霊水や国指定重要文化財となっている大岩日石寺、県指定天然記念物である榎並木の参道を楽しめる眼目山立山寺を始めとする歴史ある寺院等、様々な魅力あふれる町です。また、公開10周年となる細田守監督（上市町出身）のアニメ映画「おおかみこどもの雨と雪」で主人公花たちの住む家のモデルとなった古民家「花の家」には、県内外から多くの方々が訪れています。



写真1 花の家のモデルとなった民家

このような上市町の花と緑の銀行事業では、毎年町内の公民館、保育所、道路沿いの地域花壇等にサルビアやマリーゴールド等の苗やチューリップの球根配布を行っています。配布された花苗は地域住民によって各地区の花壇やプランターに植え替えられ、町内外の方々に花の彩を楽しんでいただけるよう管理しています。

花と緑の銀行上市支店には、現在16名の頭取、グリーンキーパーが在籍しており、「笑顔いっぱい・花いっぱいの上市」をモットーに、地域の緑化推進のため日々花と緑の活動を進めています。町内外から通行する人に癒しと安らぎの心を提供したいとの

思いから、スーパー農道沿いのオープンスペースに整備した花壇「ふれあいガーデン」は、色鮮やかな花壇を雄大な劔岳が望めるオープンスペースに整備するとともに、周りの風景に馴染む自然な花壇となるよう、宿根草、球根類、低花木等を積極的に使用しています。本年度は、敷地全体をひとつの花壇として捉え、路肩や土手を含め一体的に整備し、より美しい景観となるよう活動しています。



写真2 ふれあいガーデン

また、町の花である「リンドウ」の普及を図るため地域住民と協力しリンドウを栽培しています。より親しんでもらえるよう、町内の農園で育ったリンドウをふれあいガーデンや町内の観光地に移植し、挿し芽等で株数を増やす試みを行っています。地域の皆様に、より一層地域への愛着と誇りを持っていただき、更なる地域振興、地域活性化に繋がればと考えています。

今後も、町民の皆様と一体となって花と緑あふれるまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、頭取、グリーンキーパー及び町民の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行の今後益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

射水支店の活動について

花と緑の銀行 射水支店事務局

射水市農林水産課 山本 哲 嗣

1 射水支店の構成について

射水支店には射水市の旧5市町村の支所（新湊、小杉、大門、大島、下）があり、27地方銀行が集約し構成されています。また、頭取・グリーンキーパー139名がそれぞれの地方銀行に所属しています。

射水支店では年に4回射水支店役員会を開催しています。役員会とは、各支所に所属する地方銀行頭取の中から選任された10名の役員と支店事務局（農林水産課）との間で、必要事項を協働で決定する機関です。

2 支店活動について

1年間の活動をおおまかに紹介します。



写真1 花と緑を育む市民の集い・活動推進会議

5月中旬に各支所へ花苗を配布を行います。7月上旬から中旬にかけて射水市花壇コンクールを開催します。また、この

コンクールの中で優秀な成績を収めた花壇を、富山県花のまちづくりコンクールに推薦します。

8月下旬頃には、射水支店内27地方銀行頭取が一堂に会する、頭取会議を開催します。この頭取会議では市外の優良花壇視察や各地方銀行の持つ知見の共有を行うなど、支店内での連携強化を図っています。

11月下旬頃には「花と緑を育む市民の集い・活動推進会議」を開催します(写真1)。この会では、射水市花壇コンクールで優秀な成績を収めた花壇への表彰を行うとともに、講師を招聘し、花壇づくりに関する講演を行っています。

2月下旬頃にはコンテナガーデンコンテストに各支所から選出された団体が参加します。

3 支店花壇の紹介

射水支店内には、これまでのコンクールで優秀な成績を収めている花壇が複数あります。今回はその中の2つを抜粋し、紹介します。

まず、『令和3年度富山県花のまちづくりコンクール』のプレミアム花壇部門で最優秀賞を受賞した花壇です(写真2)。昨年度の花壇の特徴は、テーブルとイスを囲むように草丈の高い真っ赤なカンナや紅色と黄色の複色ハゲイトウが植栽され、南国を思わせるトロピカルな色合いにデザインされていました。

花壇は市井公民館に隣接しており、子ど



写真2 市井コミュニティー花壇

もたちや高齢者など地域の人々の癒しの場としての花壇づくりを行っています。また、地元自治会が花壇づくりの主体となっており、花壇づくり以外でも、花壇活動だよりを発行し地域内に取り組みを周知するなど、地域全体で花壇を盛り上げています。



写真3 歌の森運動公園西側広場花壇

次に、『令和3年度富山県花のまちづくりコンクール』のプレミアム花壇部門で優秀賞を受賞した花壇です(写真3)。小杉花作り同好会(射水支

店小杉支所)が管理主体となっています。花壇の特徴としては、花の種類が豊富であり、かつそれぞれの花の良さを互いに引き立てあうように緻密に植栽されており、味わい深い花壇となっています。

歌の森運動公園でスポーツ活動をしている方や親子連れで公園内を散歩されている方の癒しの場となっています。また、花壇を通じた地域コミュニティー構築も盛んに行われており、令和4年度は地元幼稚園との協働花壇づくりを実施しました。

4 最後に

令和4年度も支店内花壇がそれぞれテーマを持って花の育成に努めています。また、支店内で共有された知見を十分に活用している花壇もあります。

花壇づくりを通して市の盛り上げの一助となるよう、今後も積極的に緑化活動に努めていきます。

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 41 ストケシア ～

職藝学院

教授 渡邊 美保子

ストケシアは北アメリカ南西部原産のキク科の宿根草です。6月中旬に瑠璃色の花を咲かせます(写真1)。地際からバラの花びらのように放射状に何枚もの細長い葉を出し、葉と葉の間から何本かの花茎を伸ばして開花します。開花時の草丈は50cm前後で、株の中央以外から伸びた花茎は開花しながら横に倒れてゆくので、広がり方が70cmほどになります。



写真1 花は、紫がかった鮮やかな青色。和名はルリギク。花の色に由来する。大正時代に渡来。6月下旬。

ストケシアの花茎は5月初旬になると伸び始めます。1本の花茎に3枚から4枚の細長い葉が、茎を包むように互い違いについています。5月中旬になると、緑色の花びらを何枚も重ねたような蕾が茎の先に見えはじめます。その蕾を見上げるように、下の葉の付け根の内側からも蕾が一つずつ現れます。5月下旬、蕾は、緑色のとがった花びらが開いたような姿に変わります。茎の色が緑色から薄茶色に変わる6月中旬になると、茎の先端の蕾が大きくなってようやく手毬のような花が顔を出します(写真2)。花を包み込んでいるたくさんの総苞片には、トゲのようなものがついています。やがて花が開いてヤグルマギクを大きくしたような姿に変わります(写真3)。花が咲いて太陽の光をまんべんなく浴びることができるのは2日程度で、そのあとは、再び閉じて数日後には

は地面に落ちてゆきます(写真4)。見ごろは短いのですが、先端の花が開花したのを待ってからその下で準備している次の蕾が順番に開花してゆきます。

不思議なことに、花が終わると再び開花前の蕾のような姿に戻ります(写真5)。また初めからやり直しでもするかのように、まったく同じ姿になるのです。これから花が咲くのかもかもしれないと思うほどです。また緑の花が咲いたようになるため、しばらく楽しむことができます。ストケシアは、茎の先端の花が一番大きく咲くようです。優先的に栄養分を送られているのが分かります。

ストケシアは、太陽の光が十分に当たる所と水はけの良い土壌を好みます。宿根草庭園では、花壇の手前に植えられます。冬も葉が残るため、何株かまとめて植栽すると一年を通して緑の縁取りとして重宝します。



写真2 蕾が膨らみ始めて1ヶ月ほどで花びらが見えてくる。



写真3 満開のストケシア。2日ほどで開花が終わる。6月中旬。



写真4 花が咲き終わると花だけがしぼみ落ちてゆく。



写真5 花が落ちた後。咲く前の姿と同じになる。

庭木に利用する樹種の特徴と管理

～ クロガネモチ ～

(一社)日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村 正史

2022年3月4日に「庭のクロガネモチは赤い実を沢山残しているが、葉はほとんどありません。枯れたのでしょうか？」との問い合わせがありました。この樹木は常緑広葉樹ですので、葉がほとんどないということは何らかの異常が発生している可能性が考えられ、3月12日に現地へ出向きました。確かに赤い実は沢山残っていました(写真1)。樹冠の先端部にはわずかでしたが生きている葉が残っており、枝の先端部も柔軟で生きていることがわかり、この木は枯れていないことを確認しました(写真1)。この木は富山県中央植物園でもシイ・カシの森の林縁部に植栽されていますので、3月9日にどのような状況にあるかを観察しました。赤い実はありませんでしたが、写真1と比べれば葉が少し多いものと同じような傾向にありました(写真2)。この段階では、落葉の原因を明らかにすることはできませんでした。

成育期に入った5月15日に再度現地へ出向いて新葉が展開しているか否かを観察しました。たくさん新葉があり、枯れていないことが確認でき、安心しました。富山県中央植物園のクロガネモチも葉量は少ないものの、新葉が発生していました(写真3)。

クロガネモチは暖地性の樹木なので、冬の強い風や厳しい冷え込みのある地域では冬に落葉することが指摘されています。本県はこの木の成育範囲の北限に位置しており、冬には強風や厳しい冷え込みにさらされる地域でもあります。問い合わせをされた方によると、以前はクロガネモチの周りは家屋に囲まれていたが、新築により以前よりも風通しがよくなったとのことでした。富山県中央植物園では林縁部に植栽されているので、風通しはよい状況にあります。そのため、冬の間

に落葉したものと考えられます。冬の間には落葉する現象は暖かい宮崎県でも発生しているようです。この場合は、街路樹として植栽されており、寒さではなく、街路樹という厳しさが原因ではないかと指摘されています。

どちらの場合もクロガネモチの成育環境の悪化が共通しています。通常では4月頃に旧葉が新葉に一齐に入れ替わるのですが、成育条件が悪化したために旧葉が早く落葉したものと考えられます。

対策としては、成育条件を少しでも良くすることです。冬季に緩効性肥料を施すようにすればよいと思います。



写真2 3月9日時点の富山県中央植物園におけるクロガネモチ(赤い□)の状況(左)と枝の状況(右)



写真1 3月12日時点のクロガネモチの状況



写真3 クロガネモチの樹冠(左: 写真1の5月15日の状況、右: 写真2の5月16日の状況)

「花で飾るフォトスポットin富山湾岸サイクリングコース事業」について

花と緑の銀行 緑花推進部

【事業の概要】

富山湾は海越しに3,000m級の立山連峰を望む、世界でも類まれな美しい景観や県民参加による水と緑の森づくりなど多彩な魅力が評価され、平成26年10月に「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟が承認されました。その富山湾の魅力を発信するひとつの手段として、氷見から朝日までの102キロに及ぶ湾岸沿いに「富山湾岸サイクリングコース」（以下、「富山湾岸CC」と記載）が整備されており、令和3年5月には、自転車活用推進法に基づき、自転車を通じて優れた観光資源を有機的に連携するサイクルツーリズムの推進により、国から「ナショナルサイクルルート」として認定されたものです。

今回ご紹介する事業は、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして認定された「富山湾岸CC」のサイクルステーション（以下、CSと記載）周辺に、県を代表するチューリップを中心としたフラワーポット等を設置し、花と緑に彩られた快適な環境づくりを推進するものです。



写真 海王丸パーク

【事業その1】 フォトスポット設置事業

最近、フォトスポットという言葉をよく耳にします。写真をとるための専用スペースをつくり、素敵な写真やおもしろい写真を撮り、SNSで紹介するといった方法です。フォトスポット設置事業は、自転車を収容するバイクラックが設置され、サイクリング利用者

にトイレや飲料水の提供等の各種サービスを提供するCS周辺に、県内の花と緑の銀行支店をはじめとする花と緑のグループと連携して、フォトスポット映えするためのフラワーポットやベンチ等を設置するものです。今年度は、「ひみ番屋街（氷見支店）」、「富山ライトレール岩瀬浜駅周辺（富山支店）」、「海の駅蜃気楼（魚津支店）」の3ヵ所で実施することとしています。

【事業その2】 花壇リフレッシュ事業

「富山湾岸CC」は全長102キロに及ぶことから、コース沿線地域には多くの花壇が設置されていますが、規模の縮小や活動を休止している花壇も散見されます。花壇リフレッシュ事業は、こうした花壇を再生させることを目的に、土壌改良材や花苗等の資材費を助成するものです。今年度は、「なぎさガーデン（氷見支店）」など5支店の花壇で実施することとしています。

【事業その3】 指導者スキルアップ研修

また、コース沿線の花壇は、海風の影響を受けることや灌水等の管理が困難であることなど、花の生育に障害を来すような所も散見されます。この事業は、こうした課題を解消するため、専門講師を現地に派遣し、管理を行う地域の団体への技術的な指導を行うものです。今年度は、フォトスポット設置や花壇リフレッシュ事業を実施する花壇において実施する予定です。

この事業の実施により、広く県民の参加と協力を求め、多くの人の目につくCS周辺に、県花チューリップを中心に様々な花を植えてもらうことで、植物を育てる楽しさを県民に伝え、定着させる活動となることを期待しています。

終わりに、花と緑の銀行では、県民が花と緑と交流を深めながら、元気な富山県をつくるため、「花と緑が輝く元気とやまの創造」を目標として、県民が主役の花と緑の県づくりを進めてまいります。

村中を花いっぱいになりたい

花と緑の銀行 魚津支店

上野方地方銀行 頭取 松田 輝美

子どものころからお花が好きで、常に花と緑が周りにある環境で育ちました。

30年余り前、スーパー農道開通時には婦人会を率いて道路沿いにスイセンを植栽し、「スイセンロード」と呼ばれました。後々、ふよように植え替えを行い、「ふよう街道」として道路を彩りました。

富山県で開催された2000年とやま国体ではスーパー農道から桃山運動公園までの道路沿いにプランターを設置し、来訪者を花と緑でお迎えしました。

平成29年開催の全国植樹祭では、会場である桃山運動公園にプランターを設置し、市外・県外からの訪問客をいっぱいのお花でおもてなしました。

30年以上にわたり地域緑化に努めてきましたが、会員の高齢化もあり現在は維持管理のしやすいスイセンやパイナップルリリー等の宿根草をメインに植え、

無理をしない範囲で活動しています。

また、地元住民同士のふれあいを大切にしている、花壇を訪れた人が少し雑草抜きをして、その場で少し休んで、気に入った花苗を摘んで持ち帰れる「来て・見て・持ち帰れる」肩ひじ張らずに楽しめる花壇として親しまれています。

今後も、地域老人会や女性部等の各種団体と連携をとり、地域住民同士の交流を大切にしながら「村中を花いっぱい」にしていきたいと思っております。



写真2 松田頭取



写真1 桃山フラワーアート僧ヶ岳



写真3 松田頭取と仲間のみなさん

お知らせコーナー（8月～12月の主なイベント）

 富山県花と緑の祭典2022 “第50回花と緑の大会” を開催します

- ・日時：令和4年10月19日（水）13:30～16:00
- ・場所：富山県民会館ホール
- ・内容

- (1) 花と緑の功労者表彰
- (2) 富山県花と緑のコンクール入賞者表彰
- (3) 花と緑の講演会

演題：「花と緑でまちづくり（調整中）」

講師：兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科
教授 平田 富士男 氏



※花と緑の銀行は、今年50周年を迎えました。

富山県中央植物園

- 夜間開園 夜の熱帯植物探検 8月19日(金)・20日(土) 18:30~21:00 (入園は20:30まで)
- 特別展 I 桐野秋豊ツバキ資料展 -八尾が生んだツバキ研究家- 9月9日(金)~10月19日(水)
- 第55回 富山県おもと展 10月21日(金)~23日(日)
- 秋季さつき・盆栽展 10月28日(金)~30日(日)
- 第30回 TOYAMAフォーラム ツバキ研究家桐野秋豊-ツバキの魅力探求と普及の足跡
10月2日(日) 13:30~16:00
- 第5回 サボテン・多肉植物展 11月11日(金)~13日(日)
- 第16回 秋のラン展 11月18日(金)~20日(日)
- クリスマスフェア 12月3日(土)・4日(日)
- 花と緑のコンクール入賞作品展 12月9日(金)~25日(日)
(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

県民公園 頼成の森

- きのご狩りと観察会 10月9日(日) 9:30~13:00 定員:30名 参加費:400円 ※軍手必要
- 頼成の森“感謝の集い” 11月13日(日) 9:30~14:00 定員なし 参加費無料
・ 林内散策、オカリナ演奏、抽選会、きのご汁などを楽しむ
- リースづくり教室 11月20日(日) 9:30~11:30 定員:25名 参加費:1,000円
- 千支づくり工作教室 12月4日(日) 9:30~11:30 定員:15名 参加費:500円 ※軍手必要
- ミニ門松づくり教室 12月18日(日) 9:30~12:00 定員:20名 参加費:1,000円 ※軍手必要
(詳細はHPをご覧ください。申込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ)



頼成の森 花しょうぶ祭り

※ 緊急のお願い！！

- 県内の新型コロナウイルス感染が、これまでにない速さで急拡大しています。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。ご理解の上、各行事の詳細はその都度、担当部署へお問い合わせ下さい。
- 「3密回避やマスク着用、手洗いや換気」に努め、新型コロナウイルスを乗り越えましょう！



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森
〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 224号

発行日 令和4年(2022年)8月
再生紙を使用しています。